



# 若狭森林計画区における 次期計画についての検討方向



次期計画の検討方向

## 次期計画の検討における重要事項①

### 1 公益重視の管理経営

- 公益的機能を重視した管理経営
- 治山施設の設置や保安林の適切な管理
- 森林病害虫による被害への対策
- 野生鳥獣による被害への対策
- 「保護林」の適切な保護管理

3

## 次期計画の検討における重要事項②

### 2 林業の成長産業化への貢献

- 資源の循環利用と健全な森林を育てる森林整備
- 低コスト造林など新たな技術の普及

4

## 次期計画の検討における重要事項③

### 3 「もり国民の森林」としての管理経営

- 優れた森林景観や保健休養に適した森林の利用を推進
- 企業などの社会貢献活動へのフィールド提供、森林環境教育への支援

現行計画は別添を参照

## 若狭森林計画区の概況

【若狭森林計画区位置図】



○若狭森林計画区は、福井県南部に位置し、国有林野の大部分が県境に分散。

○森林の総面積88千haのうち国有林野は7千ha (8%)。

○若狭湾国定公園の一部を形成し、豊かな森林景観及び豊富な観光資源に恵まれ、ハイキングなど森林を利用したレクリエーション・保健休養の場として広く利用。

(該当市)  
敦賀市、小浜市、おおい町、若狭町

## 森林資源の状況

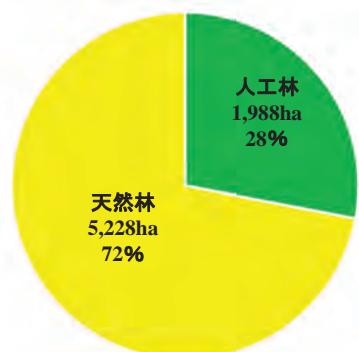
○面積割合は人工林が28%、天然林が72%

○人工林の蓄積割合は、スギ67%、その他広葉樹14%

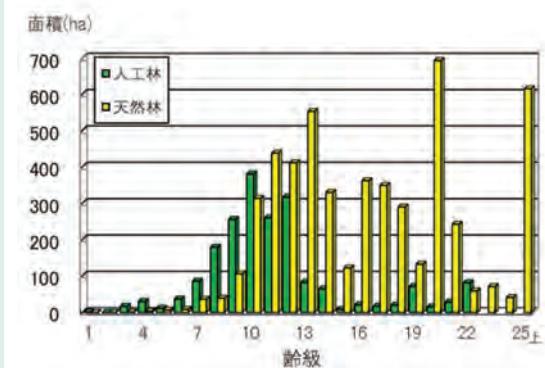
○人工林の齢級は9齢級から13齢級が中心

※齢級とは、森林の年齢(林齢)を5年でひとくくりにし、林齢1~5年生を1齢級、6~10年生を2齢級、以下3齢級・・・と称する。

【人工林・天然林の面積割合】



【人天別齢級構成】



## 機能類型に応じた管理経営

○重点的に発揮すべき機能によって、森林を5つの機能類型（タイプ）に区分し、適切な管理経営を行っています。

機能類型	面積 (ha)	対象とする森林
山地災害防止 タイプ	2,588	土砂崩れや土砂の流出等による山地災害や飛砂、潮害等の気象災害を防ぐことを目的に整備する森林
自然維持 タイプ	295	原生的な森林生態系や貴重な動植物が生息・生育するなど特別な保全・管理が必要な森林
森林空間利用 タイプ	56	国民の皆さんが森林とふれあう場として、また、森林ボランティア団体等の活動の場としての森林
快適環境形成 タイプ	—	騒音の防備や大気の浄化等生活環境の形成を目的に整備する森林
水源涵養 タイプ	4,482	洪水の緩和、水質保全等を目的に整備する森林

注:四捨五入により、内訳と合計が一致しない。

### 【機能類型別割合】

自然維持タイプ 森林空間利用タイプ  
4% 1%



8

## 主要事業（現行計画）

### ・伐採量

現行計画量 (m <sup>3</sup> )	
主伐	間伐
2,169	35,002



間伐実施箇所

### ・更新量

現行計画量 (ha)	
人工造林	天然更新
6	—

### ・保育量

現行計画量 (ha)		
下刈	除伐	枝打
18	10	—

### ・林道

現行計画量		
	路線数 (箇所)	延長(m)
開設	1	1,500
改良	—	—

健全な森林の育成、生物多様性の保全、二酸化炭素の森林吸収源対策の目標達成のため、間伐を積極的に進めています。

### ・治山

現行計画量	
保全施設 (箇所)	保安林整備 (ha)
4	49

9

## 公益重視の管理経営

### 基本方針① 公益重視の管理経営

## 国 土 の 保 全

### ○治山事業

治山ダム等の設置や保安林の適切な管理を通じて山地に起因する災害から国民の生命、財産を守ります。また、水源涵養機能や、生活環境の維持向上を図ります。

#### 谷止工



工事前



工事後

黒河山国有林（敦賀市）

## 野生生物による森林被害への対応

### ○ニホンジカによる森林被害への対策

近年ニホンジカの食害が深刻化し、生態系への悪影響が懸念。地域社会等と連携した個体数調整を推進。

また、森林の的確な更新及び造林木の確実な育成を図るため、防護柵の設置及び維持管理、幼齢木保護具の設置などによる鳥獣害防止対策を推進。



くくり罠

黒河山国有林(敦賀市)外



ハイトシェルター

野鹿谷国有林(おおい町)

12

## 森林病害虫による森林被害への対応

### ○森林病害虫による森林被害への対策

周辺民有林と連携し、薬剤の地上散布、樹幹注入、伐倒駆除等により被害拡大を防止。

地上散布



樹幹注入



松原国有林（敦賀市）

13

## 原生的な天然林等の保護

### ○保護林

2箇所を設定しており、モニタリング  
調査を定期的に実施。



野鹿谷国有林（おおい町）



14

種類	名称	特徴等	面積(ha)
希少個体群 保護林	① 黒河山スギ・ブナ・ミズナラ等遺伝資源希少個体群保護林	スギ、ブナ、ミズナラ等の林木遺伝資源の保存	93.05
	② 野鹿谷シャクナゲ希少個体群保護林	自生シャクナゲの保護	4.00

## 林業成長産業化への貢献

## 基本方針② 林業の成長産業化への貢献

### 林産物(木材)の供給 ～間伐の低コスト化、小径木の利用拡大～

○路網、高性能林業機械、列状間伐を組み合わせた低コストで効率的な間伐を推進。

○小径木などの未利用間伐材について、木質バイオマスへの利用を拡大。

低コストで崩れ  
にくい路網整備



高性能林業機械  
の活用



列状間伐の導入



16

## 基本方針② 林業の成長産業化への貢献

### 低コスト化に向けた取り組み ～一貫作業システム～

・植付けの時期を選ばないコンテナ苗を用いることで伐採後直ちに植付が可能。

・木材の運搬機械を苗木や防護柵等の造林資材運搬にも活用することで、造林コストを低減。

[伐採]



[造材]



[搬出]



[植栽]



[造林資材の運搬]



※一貫作業システム：伐採と植栽を一体的に行う作業

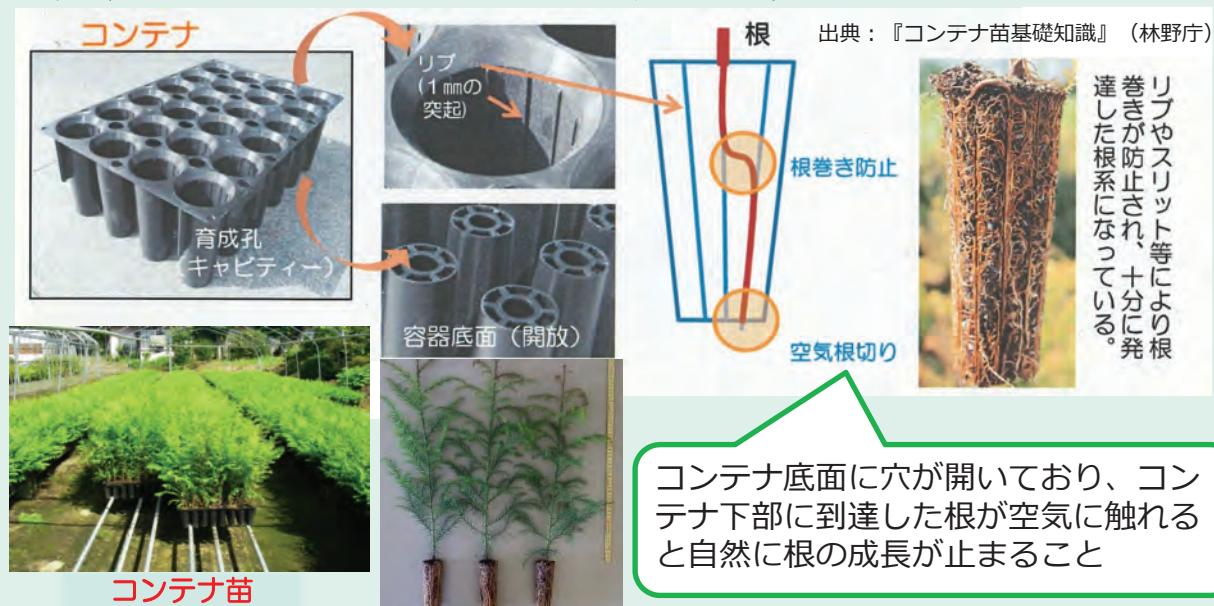
17

## 基本方針② 林業の成長産業化への貢献

### 低コスト化に向けた取り組み

#### ～ コンテナ苗 ～

- 苗木を育成する容器の内面にリブ（縦筋状の突起）を設け、底面を開けることによって、根巻きしにくい苗木を生産。
- 根鉢がコンパクトで小さな植穴で植栽が可能。



## 基本方針② 林業の成長産業化への貢献

### 林産物(木材)の供給

#### ～ 間伐材の有効利用～

本計画区では、主に60年生以下の林分で間伐を行っており、間引いた樹木を有効利用する観点から、間引きを直線的に行う列状間伐と高性能林業機械を組合せて間伐材の効率的な搬出を実施。



列状間伐



高性能林業機械による造材



フォワーダーによる運材

野鹿谷国有林（おおい町）

筆掛国有林（池田町）

黒河山国有林（敦賀市）

## 基本方針② 林業の成長産業化への貢献

### 林業技術の開発及び普及 ～ 新たな技術普及に向けた取組 ～

技術開発目標に基づき、材質が固く生長が早い早生樹について、関係機関との連携を図りつつ技術開発を計画的に推進。

#### 早生樹（センダン）植栽試験地



黒河山国有林（敦賀市）

20

「国民の森林」<sup>もり</sup>としての管理経営

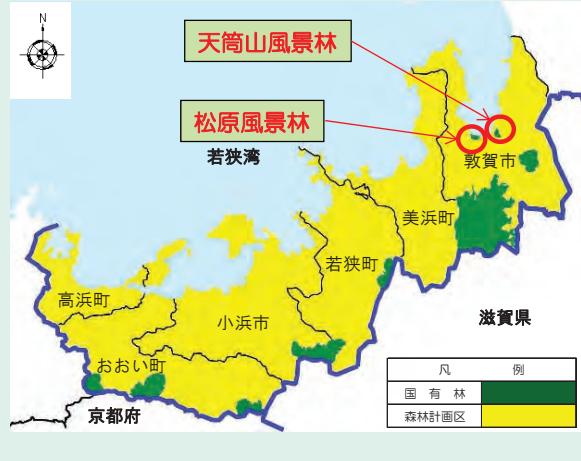
### 基本方針③ 「国民の森林」としての管理経営

## 国有林野の活用 ～保健・文化・教育的利用のための取組～

○レクリエーションの森  
2箇所56haを設定し、国民の保健・文化・教育に活用。



天筒山風景林



種類	名称	概要	面積(ha)
風景林	松原風景林	名勝「気比の松原」として白砂青松の渓間が多くの人々に親しまれている	32.45
	天筒山風景林	展望地として、また散策の場として多くの人に親しまれている	23.11

22

### 基本方針③ 「国民の森林」としての管理経営

## 国有林野の活用 ～保健・文化・教育的利用のための取組～

松原風景林は、「日本美しの森 おすすめ国有林」に選定されており、地域の関係者と協働・連携を図りつつ、森林景観を活かした地域の観光資源の創出に寄与するよう、情報発信や環境整備に取り組む。

※ 日本美しの森 おすすめ国有林とは

優れた自然環境を有するなど、観光資源としての潜在的魅力が認識されるレクリエーションの森として林野庁長官が選定。



ホームページを活用した情報発信

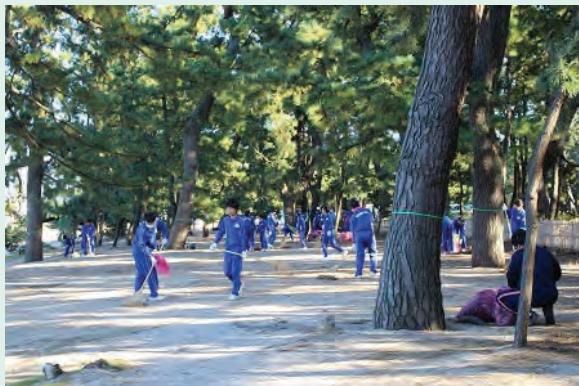
23

### 基本方針③ 「国民の森林」としての管理経営

## 国民参加による森林づくり

### ○地域住民等による森林整備

森林ボランティア活動や森林環境教育のフィールドとして国有林を提供。



気比の松原ふれあいの森での松葉かき作業

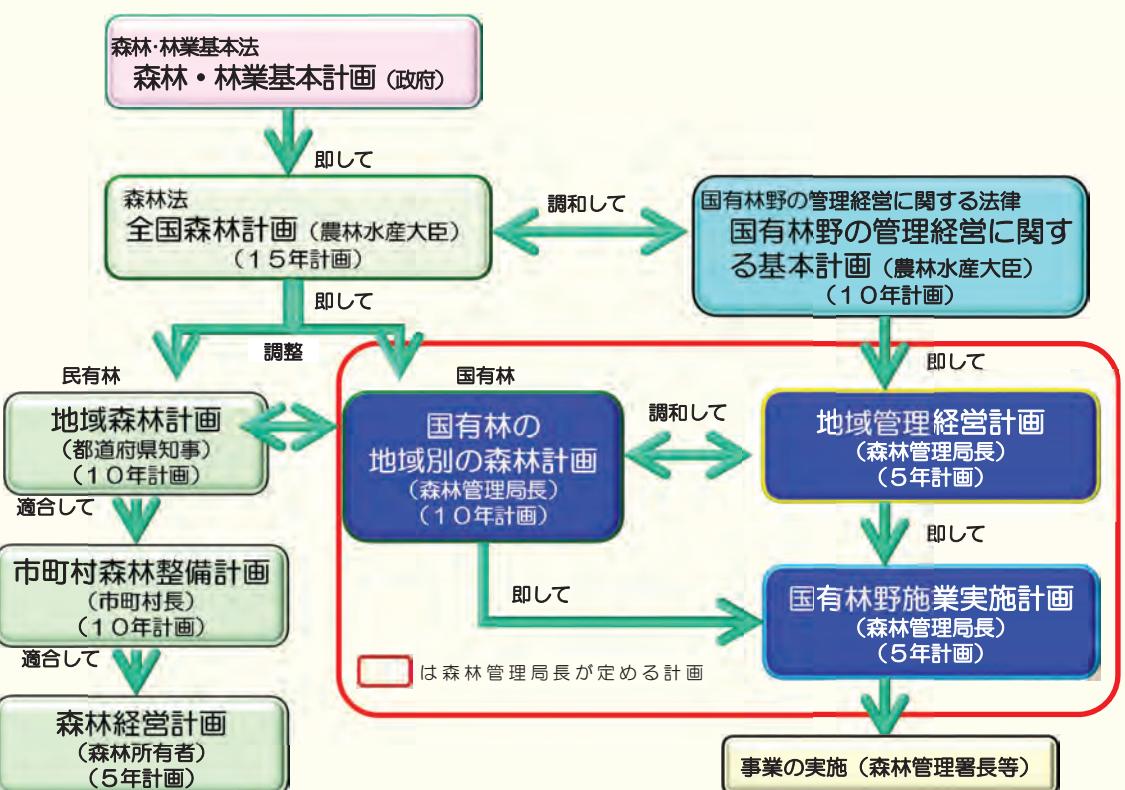


名称	面積(ha)	備考
気比の松原ふれあいの森 (ふれあいの森)	28.52	松原国有林 (敦賀市)
気比の松原憩いの森 (多様な活動の森)	32.45	松原国有林 (敦賀市)

24

### 参考

## 国有林で作成する森林計画



25